



Celebrations

Outlook by Jim Thompson
published in Zalk
July
20th

ゆきのなみだ

ゆきは涙を流せない
息もにごる寒空で
泣いたとしても
同情するのは雪だけ
一杯にせり出した感情は
冷めるとどまる

ゆきは涙を流せない
冷たい眼下にたまった涙は
落ちることなく
ますます体を冷やし
温もりを求め
雪は積もる

ゆきに涙は流せない
溶け、汚れ、泥にまみれ
灰色の魚をゆすぎ
塩に染まったとしても
いつか雪になると知っているから

あさひ

おい、見ろ

太陽はいつもあの場所から現れるぞ

その瞬間に

日の光は人と友になった。

1年に1度綻ぶ花をいとしく思うのに

毎日現れるものをさげすむはずもなく

熱くたぎる天体を

こんなにもいとしく思うのは

手が届かないのに

いつも目につくせいか

それとも

ただ光るせいか

ヒンジアル

あなたはどこにいて
だれを見守るのでしょうか？

夕月のピアスに
あごを突き出す美女
また熱が覆うまで
夜の盾にする

爪を磨いた鱗
歯を削った石
ポケットはガラクタばかり
空にも行けない

かすむ砂山
にじむ太陽
あなたは私を
見守っているのでしょうか？

頬を走る風は舌を干す
肌に吸い付いた風は耳をちぎる

これまでに残酷な燃える獅子が
旅人を屠ろうとも、あるいは逃がそうと

あなたは私を見守っているのでしょうか？

おねがい、水を

まあぶた

悪口をいうそよ風を
そんな風を見つけたら
どうぞ知らせてください。

いたずらをする雷を
雷を叱りつけない限り、
私が躡けます。

眠らさずにおく拷問をなんというか。
寝ずの刑？
不眠の罰？

風が答える間もなく
風取編みにつかまった。
風叩きで叩きのめされ、
風袋に入れられる。

あそこの坊ちゃんのお名前は？
まぶたちゃんさ